

対 象 高学年向け	調べる時期 7月～8月	かかる日数 2週間程度
--------------	----------------	----------------

「樹木を観察しよう」

○樹木の種類ごとの葉の形や大きさを調べてみよう。



1 準備するもの

【野外でいるもの】

- ・せんていばさみ（葉などを取るため）
- ・取った枝葉を入れる袋
- ・樹木の図鑑（持ち運びしやすいハンディタイプのものが望ましい）
- ・ノートと鉛筆やペンなど書くもの

【室内（押し葉標本に必要なもの）】

- ・重し・・・レンガやブロックや漬けもの石など
- ・はさみ紙・・・葉をはさむ新聞紙（新聞紙一面分の二つ折り）
- ・吸水紙・・・新聞紙
- ・押し板・・・ベニヤ板など丈夫な板
- ・台紙・・・標本を貼る紙（白いケント紙など）
- ・紙テープ・・・上質紙などを細く切ったのりをつけたもので、標本を台紙に貼るときのテープになります（※セロハンテープは劣化します）
- ・防虫剤・・・作成した標本を害虫から守るための防虫剤（ナフタリンなど）
- ・ラベル用の紙・・・上質紙など

【室内（とりまとめに必要なもの）】

- ・図鑑など樹木の葉を調べるための本
（※くわしくは参考資料のところを見てください）

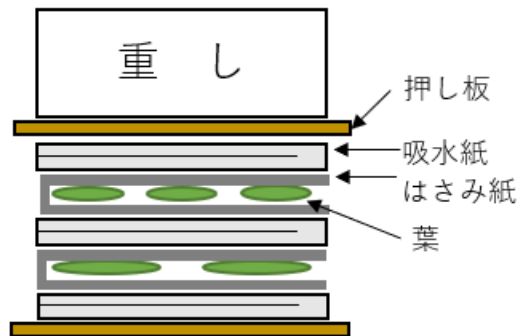
2 手順

【ア. 押し葉標本の作り方】

- （1）葉をよく観察し、枝を取ってきます。（※2枚以上の葉がついた枝。枝が太いと乾きにくいです。）
枝を取った木の名前や、取った場所・日付、葉の様子などをノートに書きます。
（※葉の様子の観察ヒントは「調べたいこと」「探求のヒント」の章をみてください）
- （2）葉についている泥や汚れを落とします。
- （3）形を整えて、1種ずつはさみ紙にはさみ、吸水紙（新聞紙5枚程度を折りたたんだもの）と交互に重ねて、上下を押し板ではさみ、重しをのせます。

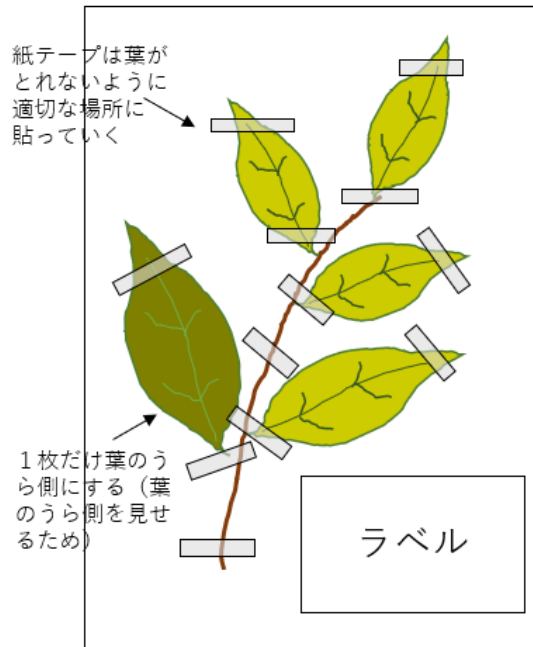
対象 高学年向け	調べる時期 7月～8月	かかる日数 2週間程度
-------------	----------------	----------------

(イメージ図)



- (4) 吸水紙は、はじめの1週間は1日に2回程度、それ以降も2日に1回は交換します。※様子を見ながら交換してください。この交換をおこたると葉にカビがはえたり、くさったりします。(はさみ紙の方は最後まで交換しません)
- (5) 2週間も続けると乾いてきますが、葉や枝をさわって水分が残っているようなら、完全に乾くまで交換をします。
- (6) ラベルを作成します。
- ・ラベルに書くもの
 - ① 枝を取った場所、② 枝を取った日、③ 採集者(葉を取ってきた人)、
 - ④ 標本番号(整理番号) ⑤ 葉の様子(外で生きている葉を見てノートに書いたことや標本をじっくりみて書く)
- (7) 乾いた枝と葉を台紙に貼って、右下にラベルを貼ります。

(イメージ図)



- (8) 植物の標本は放置すると害虫に食べられてしまうので、防虫剤を入れたビニール袋に入れて、害虫と湿気から守って保管するようにします。

【イ. 子どもの木を調べてみる※発展編】

- (1) 親の木の周りに、子どもの木(～およそ数十センチほどの高さ)があるか探しま

対象 高学年向け	調べる時期 7月～8月	かかる日数 2週間程度
-------------	----------------	----------------

す。(まずは同じ葉をもった子どもの木があるか探してみてください)
 (2) 子どもの木があったら親の木とどのように違うのか観察してみます。

3 調べたいこと

- ・葉はどのようなサイズや形をしているのか。葉の厚さなどは樹種によって違うのか調べてみます。

4 参考資料／見本

樹木の図鑑（葉の写真が大きく、葉の形やつき方の説明がくわしいものがよい）

（参考）・フィールド版 日本の野生植物 木本（平凡社）

・葉で引く四国の樹木観察図鑑（愛媛新聞社）

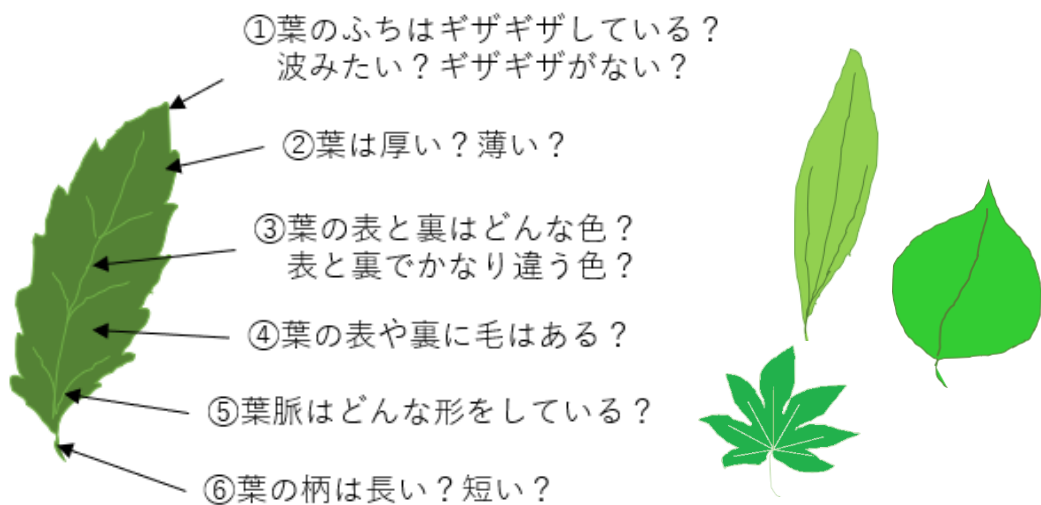
・葉でわかる樹木 625種の検索（信濃毎日新聞社）

5 探求のヒント

【ア. 葉について】

(1) 枝についている葉の様子はどうか（左右で交互についているのか（互生）、同じ位置についているのか（対生））よく観察してみます。

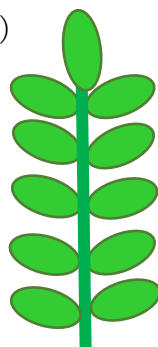
(2) 葉の形をよく確認してみます。



(3) どこまでが一枚の葉として数えられているのか図鑑で調べてみます。

（ヒント：手のひらの形をしたもの、羽のようについている葉などは1つと数えるものがあります）

羽のような形
（クルミ科、マメ科など）



手のひらのような形
（ウコギ科など）



対 象 高学年向け	調べる時期 7月～8月	かかる日数 2週間程度
--------------	----------------	----------------

(4) 似ている葉でグループ分けしてみます。

【イ. 子どもの木を調べてみる※発展編】

- (1) 親の木とくらべてみて、どれくらい年がたったら親の木と同じサイズになるのか調べてみます。
- (2) 親の木とくらべてみて、葉の形や大きさは同じか違うか観察してみます。

6 注意

- ・ 枝を切るときは、許可をもらってから切ること。禁止されているところでは切らないこと。
- (野外に行くときは)
- ・ 山に入るときは大人の人と一緒にいく。
- ・ 山や草むらに行く服装は、必ず帽子、長そで、長ズボン、長ぐつを着用して、ハチ、マムシ、マダニなど危険な生物に注意すること。
- ・ ヤマウルシなどのかぶれやすい植物や毒をもった植物があるので、採取するときには図鑑などで確認して採取する。
- ・ 山に行くときはクマよけのため、ラジオやクマ鈴をつけていく。
- ・ 水筒などを持っていき、こまめに水分をとって熱中症に注意する。
- (休けいも適切にとること)

7 まとめ方

- ・ 樹木がどのような葉をもって生活をしているのか、複数の樹種を比較してとりまとめをします。
- ・ 市販のラミネートフィルムを使って、しおりや標本を作ることもできます。

8 樹種がわからない場合は…

- ・ 図鑑で調べても樹種がわからない場合は、森林研究所にたずねてみてください。
(※わかる範囲でお答えします)